

岡田 ゆうじ

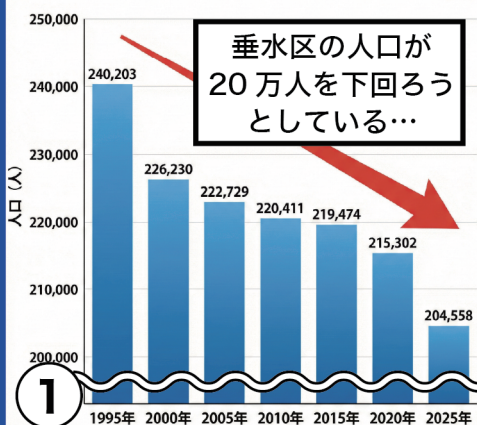


神戸市会本会議

発行：新しい自民党神戸市議員団 神戸市中央区加納町 6-5-1 TEL090-9259-1555

No. 73 減り続ける人口

垂水区の人口推計（1995年-2025年）



一方で福岡市は「住み続けたいまちナンバーワン」と言われています
移住してきた人を「ずっとここに居たい」と思わせる施策が強い

4

福岡市は29年連続で人口増加

若者の交流イベント

子育て支援センター

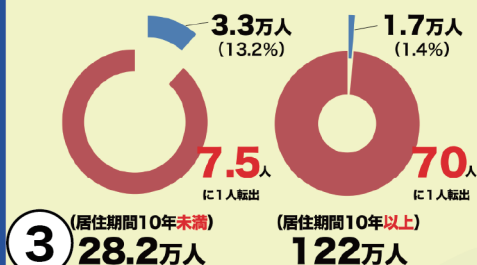


7



神戸は「住みたい街」と思ってもらえる割合が他都市より低い…特に移住してきた人ほど早期に離れていく傾向があるんです

居住期間別転出数（2022年）



8

居住期間10年未満の住民の高い転出率について

○（岡田ゆうじ君）（人口の）市民意識調査というのがあるんですね。福岡市は「住みたいまちナンバーワンです」というのを売りにしてるんです。福岡市の資料を見ると必ず出てくる「**9割以上の人が住みたいと思っているまち福岡市です**」。彼らは一度福岡に住んでもらったら、もう絶対放しませんよという強い強い政策目的とアピール力を持ってるわけです。福岡はそれに特化してるんです。

残念ながら、神戸市が100万人以上の人口の市の中で、**住みたいと答えた人の率が6割を切っていてワースト**なんです。神戸市はこれまで住みたいと思ってくれる、そういう人を増やす努力をしてきたのか。

150万人の中で、居住期間10年以上の人は120万人いるんです。居住期間10年未満の人は30万人、（神戸市民の）大体5人に1人が居住期間10年未満の最近神戸に来た人なんです。

昨年1年間で5万人（市の人口が）流出したということを言ってますけど、その5万人の内訳はどうかというと、**10年以上暮らしている人は1.7万人、要は70人に1人しか転出しない**んです。だけど**最近10年で来た人は3.3万人、7人に1人ぐらいの割合で転出**をしています。**流動率でいうと10倍**です。

たまたま今、子育ての関係で神戸にいるけど、来年からほかの市に住むかもしれないみたいな、ふらっと神戸に来た人たちの気持ちを議会や行政はこれまで考えてこられただろうか。

生粋の神戸っ子じゃない人たちにも神戸を愛してもらう、こういう視点での施策の立て方が重要なんじゃないか。見解をお伺いします。



岡田ゆうじ

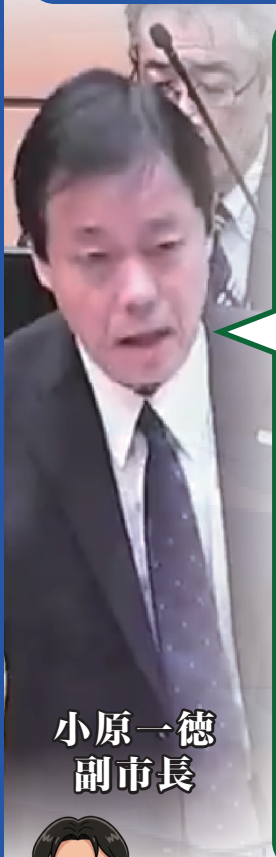
○副市長（小原一徳君） 議員より御紹介いただきましたとおり、例えば、令和4年度の市外転出者の内訳を見てみますと、6割以上がやはり在住期間が10年未満であった、こういった実績になっておりますので、この**在住期間が短い市民の方の定着促進を図っていく**、これは非常に重要な観点だと考えております。

そうした観点から、特に移動が多い年代、20代から30代の若年層の在住者や転出入者を対象としたアンケートを令和4年度に取ったわけでございますが、例えば、定住意向といたしましては、想定どおり10年以上の方は、10年未満の方に比べて5ポイント以上高いということで、在住年数が長いほど定住意向が高いという傾向が出ております。

また、住みたい理由といたしましては、在住期間にかかわらず、**地域の様子、雰囲気、また利便性など、まちへの愛着とか都市機能**を示すお声も多かったところでございます。

さらに、今後期待する市の施策といたしましては、在住期間を問わず、**子育て・教育環境**が最も高くなっているわけでございますが、特に10年未満の方からは子育て・教育環境については10ポイント高いお声をいただいているところでございます。

今後も市民ニーズの把握や詳細な分析を進めることによって、人口誘引や定住につながる効果的な施策立案、またその浸透に取り組んでまいりたいと考えております。



小原一徳
副市長



住みたいまちナンバーワン神戸を目指して！

神戸市会議員 垂水区 岡田ゆうじ

〒655-0044 神戸市垂水区舞子坂 3-18-20
TEL：090-9259-1555 / FAX：078-330-2335

LINEで感想等
お寄せ下さい→
mail@okadayuji.net
www.okadayuji.net

